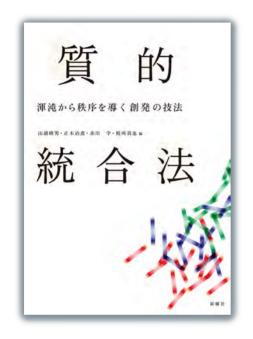
# 渾沌から秩序を導く創発の技法



## 山浦晴男・正木治恵・赤川 学・税所真也 編

B5 判・544 ページ 定価 6.930 円 (本体 6.300 円+税) ISBN978-4-7885-1898-8 2025年10月刊



新曜社サイトは

手に入れた膨大な質的データを、どのように整理・統合すれば、 新たな発見に至ることができるのか。分析者によるデータの恣 意的な選択・解釈を許さず、現象の全体像を掌握する錬成され た技法。その理論と実例を網羅した、質的統合法の決定版。

\*質的統合法の開発者による充実した解説にくわえ、看護学や 社会学など各分野における実践例を豊富に収録。

#### 主な目次

### ■ 第1部 質的研究法は科学的研究法である ■

第1章 質的研究における質的統合法の姿●山浦晴男

質的統合法に基づく科学的研究の理論化の試み●山浦晴男

第3章 KJ 法とそれに準拠する質的統合法に内在する思想

●川浦晴男

#### ■ 第2部 質的統合法の研究ノウハウ ■

第4章 研究のマネジメント●山浦晴男

野外調査(現場調査)からのデータ化のノウハウ

●山浦晴男

第6章 質的統合法の統合ノウハウ●山浦晴男

#### ■ 第3部 質的研究における考察法 ■

第7章 実態把握と考察の峻別の必要性●山浦晴男

第8章 考察法としてのロジカル・ブレスト法●山浦晴男

第9章 考察法としてのコスモス法●山浦晴男

#### ■ 第4部 質的統合法を用いた社会実践 ■

第10章 地域社会の課題解決●山浦晴男

第11章 寄りあいワークショップの進め方●山浦晴男

第12章 社会実践例●山浦晴男

#### ■ 第5部 質的統合法と看護学 ■

第13章 看護研究における質的統合法の学問的価値●正木治恵

第14章 質的統合法を用いた取り組みから見えた看護学分野での

活用可能性●佐藤悦子

第15章 急性期看護学の高度看護実践における質的統合法の活用と 可能性●遠藤みどり

質的統合法の魅力と課題と分析のコツ●清水安子 第16章

第17章 看護実践のリアルを言葉にする●小林裕美

第18章 看護の現象に潜む論理構造の発見から新たな探究へ ●林 優子

#### ■ 第6部 質的統合法と社会学 ■

第19章 KJ 法の文化伝播●上野千鶴子

質的統合法を社会学の教育現場に導入する過程とその 第20章 実践的工夫●税所真也

質的統合法実践の海に飛び込むために●井□高志 第21章

質的統合法を用いてインタビューを読み直す●祐成保志 第22章

第23章 社会学における質的統合法の可能性●赤川 学

#### ■ 第7部 質的統合法と人類学、建築学、教育学 ■

第24章 人類生態学における質的統合法の活用の可能性●小西祥子

第25章 人□人類学における質的統合法の活用●森木美恵

第26章 まちづくりの手法と寄りあいワークショップのルーツ KJ 法

●大月敏雄

大学教育分野における質的統合法の需要と有用性●林 透 第27章

第28章 KYKK の現実と質的統合法の未来●松本美奈